

実践例：中学校保健体育

単位時間の学習例：第2学年 球技 ゴール型 「バスケットボール」

ICT活用の場面及び機能とよさをチェック!



1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。
めあて：シュートを打つために、ボールを持たないときにどのような動きをすることがよいかを映像をもとに伝え合おう。

□ 提示・配布機能

□ 一覧表示機能

事前に撮影したゲームの様子を提示し、視点となる「よい動き」と「課題の動き」を共有し、全体で思考させ、発表させる。



短時間で！
効率的に！

瞬時に！
全員の！



2. 各チームの課題解決に向けた練習を行う。

リーダーを中心にし、「よい動き」と「課題の動き」を確認してから、練習に取り組ませる。



3. 課題の改善を意識した、ミニゲームを行う。

□ 撮影・録音・再生機能

□ 共同編集機能

2階ギャラリーから撮影することで、生徒1人1人の動きが明らかになり、自己やチーム全体の動きの振り返りに生かす。



すぐに！
その場で！

4. 各チームでゲームの映像をもとに、内容を振り返り、「よい動き」や「課題の動き」について、伝え合う。

□ 撮影・録音・再生機能

□ 思考の補助機能

ゲームをすぐに確認でき、スロー再生にしたり、一時停止にしたりし、コート上の空間を生かした動きについて意見を伝え合わせる。



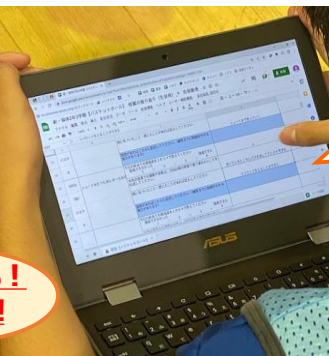
複数で！
同時に！

何度でも！
簡単に！

5. ゲームの動画をチーム内で共有して見返し、本時の成果と課題をまとめ、振り返りをする。

□ データの保存・提出機能

めあての達成状況や課題の解決方法、気付いたことなど、観点を明確にした振り返りを入力・保存させる。



いつでも！
手軽に！

【生徒の振り返り】
ゴール前の空いている場所に走り、パスを受ける動きを仲間に伝えることができた。